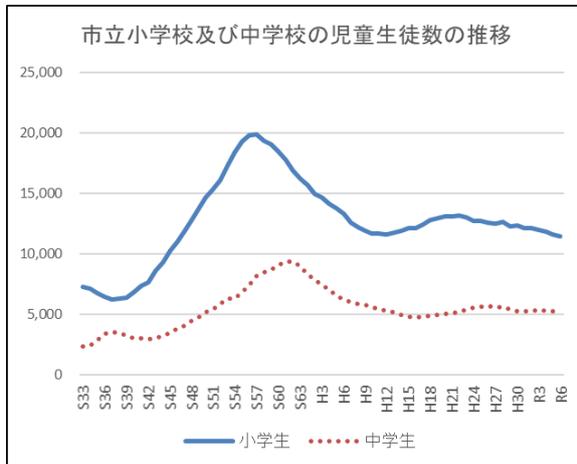


西谷小学校及び西谷中学校における小規模特認校制度の導入について

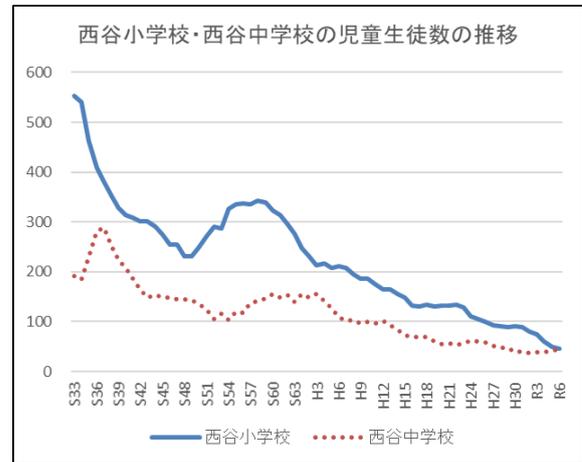
Ⅰ 背景

(1) 少子化の進展(児童数・生徒数の推移)

① 宝塚市



② 西谷小学校・西谷中学校



(2) 令和6年度児童生徒数・学級数(令和6年5月1日時点)

① 西谷小学校

| 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 男 | 2 | 8 | 4 | 5 | 0 | 10 | 29 |
| 女 | 4 | 0 | 1 | 2 | 5 | 5 | 17 |
| 合計 | 6 | 8 | 5 | 7 | 5 | 15 | 46 |

② 西谷中学校

| 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 合計 |
|----|----|----|----|----|
| 男 | 5 | 7 | 9 | 21 |
| 女 | 5 | 8 | 10 | 23 |
| 合計 | 10 | 15 | 19 | 44 |

(3) 就学前の子ども数について(令和6年5月1日時点)

| 学齢 | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 人数 | 1 | 3 | 2 | 3 | 4 | 1 |

(4) 複式学級について

① 複式学級の学級編制の基準 ※()内は、国の基準

| 項目 | 小学校 | | 中学校 |
|------|--------------|----------|-------|
| | 1年生を含む | 1年生を含まない | |
| 単式学級 | 35人(6年生は40人) | | 40人 |
| 複式学級 | 8人(8人) | 14人(16人) | —(8人) |

② 複式学級の教育課程

- i) 国語: 学年ごとに個別の教室で授業を実施。
- ii) 算数: 1つの教室で学年ごとに分け、それぞれの学年に応じた授業を実施。
- iii) それ以外の教科: 1つの教室で2学年の児童が同じ単元で学習できるように複式学級用のカリキュラムを編成し、授業を実施。

(5) 保護者・地域の意識の高まり

児童数減少を危惧した保護者・地域からの呼びかけによる勉強会が開かれ、令和5年11月にそこに行政も加わり、西谷地区学校づくり検討委員会を発足しました。そして、のべ6回の会議を開催し、特認校制度の導入を求める意見書を取りまとめました(8月16日に市教委受理:別紙参照)。

2 特認校制度の導入について

(1) 特認校制度とは

従来の通学区域は残しつつ、特定の学校の児童・生徒数を増やすため、通学区域には関係なく市内のどこからでも就学ができる制度です。

(2) 西谷小学校・西谷中学校における特認校制度による効果について

“主体的・対話的で深い学び”が実現する授業づくり

(ア) 魅力ある学校で、豊かな学びを提供

(イ) 子どもたちの未来を広げる、選べる学びの場

3 令和7年度児童生徒の募集について

(1) 対象学年

- ① 小学校:新1年生とその兄弟
- ② 中学校:新1年生から新3年生まで

(2) 募集期間

令和6年10月1日(火)から11月15日(金)まで

(3) 情報発信について

- ① 広報たからづか10月号にて募集の記事を掲載
- ② 西谷小・中・認定こども園から、児童生徒園児保護者向けに募集のお知らせを配布(9/25)
- ③ 市ホームページに掲載(ID番号1057060)(9/28)
- ④ 市立小中学校の児童生徒はデジタル配信ツールにて募集のお知らせを配信(9/30)
- ⑤ 宝塚自然の家・西谷児童館に募集のお知らせを設置(9/30発送)
- ⑥ 来年度小学校就学予定の世帯には、就学時健康診断通知に募集のお知らせを同封(10/1発送)